

情報連携推進本部が継続的に提供している情報サービスについて紹介します。

チャットボット構築支援

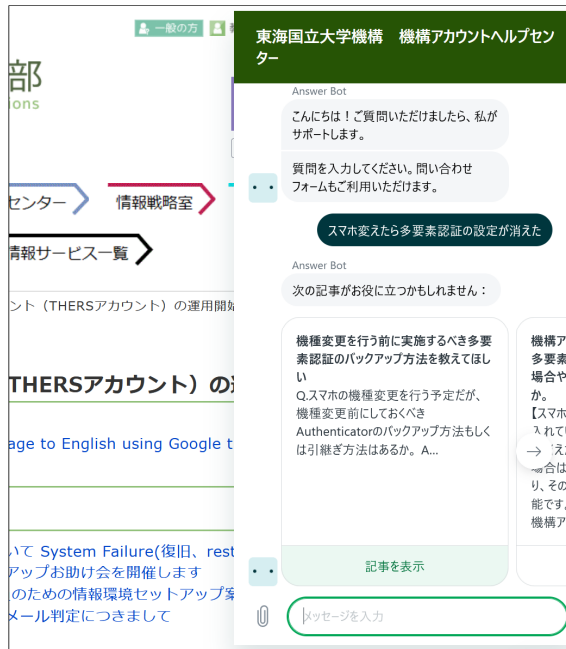
近年では様々な所でチャットボットが活用されていますが、効果的なチャットボットの作成には、

- 選択肢の遷移構造の決定
- 回答文を含むQ&Aリスト作成

などの初期仕様策定、および、継続的な改善が必要になります。情報連携統括本部では、チャットボット作成支援を行っており、右記のチャットボット構築に貢献しました。また、「名古屋大学チャットボット導入のガイドライン」を策定する形で、部局が独自のチャットボットを作成する時の参考情報を提供しています。



車両入構案内チャットボット



機構アカウント案内チャットボット

名古屋大学無線ネットワーク (NUWNET)

名古屋大学IDを用いて認証可能(802.1x認証、ウェブ認証)な全学無線LANシステムであるNUWNETを提供しております。現在、NUWNETのアクセスポイント数は2,200台を越え、建物の新設/改築時の整備や部局負担の増設などでその数は増加中です。これらのアクセスポイントは、同時に、eduroamのアクセスポイントでもあります。また、学会参加者や短期滞在研究者のNUWNET利用を可能とするNUWNETゲストアカウントの発行が可能です(教職員に限る)。BYOD講義基盤として教室を中心に増強されたNUWNETは、ハイブリッド講義の実施や動画などの講義コンテンツ閲覧に活用されています。

現在はほぼ全ての建物で利用可能となったため、細かな通信不良箇所の発見と対策や混雑状況の可視化などの利便性向上を中心として進めており、利用者からの通信不良状況の報告フォーム、Raspberry Piを用いた通信不良箇所の長期観測などを実施し、機会を見ての改善や、次回以降の大規模整備における基礎データの収集を実施しております。



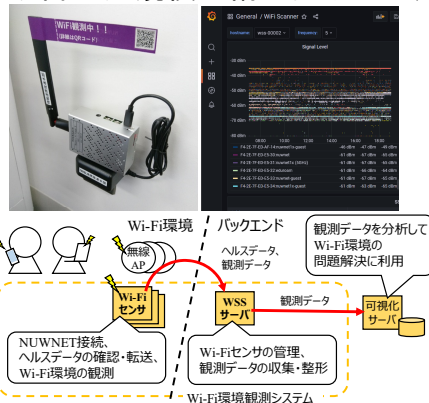
NUWNET/eduroam利用可能施設(東山)



講義室ごとの混雑度の可視化



NUWNET可視化システム 端末情報収集画面



学内向けWi-Fi環境観測システム(WSS)